

令和2年度「子供・若者育成支援のための地域連携推進事業」

北海道東北ブロック研修会

青少年育成潟上市民会議 瀬下翁悦

[第一分科会] 困難を抱える子供・若者の支援

事例発表者 特定営利活動法人with優 代表 白石祥和

- ・所属機関・団体の概要
- ・事例

ファシリテーター 山形県立保健医療大学 教授 安保 寛明

- ・略歴

◆事例検討会

1. 地域で取り組む若者支援

相談しやすい入口と就労をゴールにしない取り組み

2. 失敗してもいい、いつでもチャレンジ出来る居場所を作ること  
そして、子どもや若者を地域で支えていける仕組みを作ること

※フリースクールから始まった地域作り

- ・「不登校」「引きこもり」の原因探し
- ・「お恥ずかしい話ですが・・・」で始まる初回面談

①相談しやすい入口

- ・敷居の低い相談の窓口
- ・相談したい方が選べる、行きやすい入口
- ・地域住民にとっての「支援」のハードルを下げる

②子供の学習支援事業

- ・フリースクール
- ・子供たちと地域のつながり・敷居の低い相談窓口
- ・「力を貸してくれないか」で始まる一歩
- ・地元の農家さんの協力でもう一歩

③地域の人を巻き込み、若者支援の地域を作る

★なんのために支援をしてもらうのか

- ・立ち上げるため・続けていくため・拡大するため
- ・支え合い、寄付をもっと身近に

※自分達の立ち位置で社会をもっと良くしていく、変えていくため